

令和8年度 シラバス 【芸術】

科目名	単位数	学年	使用教科書	使用副教材	
美術 I	2	1 学年	116日本文教出版 美 I 702 高校生の美術 I	なし	
◇科目の概要と目標					
1 対象や事象を捉える造形的な視点について、創造的活動を通じて理解する。 2 美術の幅広い創造活動を通して、生活や社会の中の美術や美術文化との関わりについて理解を深める。 3 美術に関する造形的な見方・考え方を養い、美的体験を重ね、意図や目的に応じて表現方法を工夫することができる知識、能力、態度を身に付ける。 4 美術に関する興味、関心を高める。 5 美術文化に親しみ、作品から美意識や創造性を感じ取り、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。					
◇科目の観点別評価の目標					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、意図に応じて創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、創意工夫し、表すことができる。	創造的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。		美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創作活動に取り組もうとしている。		
月	4月	5月		6月	7月
科目名	単元	単元	単元	単元	単元
美術 I	オリエンテーション	デッサン基礎	中間調査	デッサン基礎	絵画(静物画)
知識・技能	美術に対する取り組み方について理解することができているか評価する。 アジアの中の日本の美術の役割について理解することができているか評価する。	基本的な素描用具の取り扱い方について理解できているか評価する。		鉛筆でグラデーションを制作し、陰影での立体感の捉え方について理解することができているか評価する。	実際にモチーフを並べ、対象や事象の特徴を捉えることができているか評価する。
思考・判断・表現	美術のもつ力や表現の大切さを理解し、制作に生かすことができるか評価する。	鉛筆の削り方、使い方を理解し適切に扱うことができるか評価する。		陰影を使い、立体感を表現することができるか評価する。	絵の具の特性を知り、塗り重ねのよさと楽しさを理解し、表現することができるか評価する。
主体的に学習に取り組む態度	作品やワークシートを評価の参考にする。	作品やワークシートを評価の参考にする。		作品やワークシートを評価の参考にする。	作品やワークシートを評価の参考にする。
月	7月	9月	10月	11月	12月
科目名	単元	単元	単元	単元	単元
B 術 I	絵画(静物画)鑑賞	デザイン基礎	中間調査	デザイン表現	デザイン表現
知識・技能	完成した作品を鑑賞し、互いの表現方法の違いやよさを味わうことができるか評価する。	色彩の基礎について理解することができるか評価する。		手順に沿って絵本を作ることができるか作品や制作過程から評価する。	色彩に関する知識を生かし、着彩をして、からくり絵本を完成させることができるか評価する。
思考・判断・表現	自身の作品と他の違いや魅力を感じ取り、表現方法の工夫について考えることができるかワークシートで評価する。	表現したいイメージをもとに色相、明度、彩度を理解し、絵の具の混色により配色することができるか評価する。		8ページの関連性を考え、表現したいイメージをデザインすることができるか評価する。	8ページの関連性を考え、表現したいイメージをデザインすることができるか評価する。
主体的に学習に取り組む態度	作品を鑑賞し、特徴やよさを積極的に味わおうとしているか評価する。 発表や話し合いに取り組む姿勢を評価の参考にする。	作品やワークシートを評価の参考にする。		コンセプトに適した配色を吟味し、完成まで丁寧な制作を行うことができるか評価する。	作品やワークシートを評価の参考にする。
月	12月	1月	2月	3月 年間	
科目名	単元	単元	単元	学年末調査	総合評価
美術 I	鑑賞	立体構成	立体構成鑑賞		
知識・技能	完成した作品を鑑賞し、互いの表現方法の違いやよさを味わうことができるか評価する。	立体構成するためにケント紙の素材の特徴を理解し、オリジナルの形を考え、作業することができるか評価する。	完成した作品を鑑賞し、互いの表現方法の違いやよさを味わうことができるか評価する。		美術や文化を幅広く理解し、その美しさを創造的に味わうことができるか。
思考・判断・表現	自身の作品と他の違いや魅力を感じ取り、表現方法の工夫について考えることができるかワークシートで評価する。	幾何学的な形の組み合わせを使い、秩序ある構成を工夫しているか評価する。 形を作り上げていく楽しさを理解できているか評価する。	自身の作品と他の違いや魅力を感じ取り、表現方法の工夫について考えることができるかワークシートで評価する。		主体を生成し、創造的な表現の構想を練ることができるか。
主体的に学習に取り組む態度	作品を鑑賞し、特徴やよさを積極的に味わおうとしているか評価する。 発表や話し合いに取り組む姿勢を評価の参考にする。	作品やワークシートを評価の参考にする。	作品を鑑賞し、特徴やよさを積極的に味わおうとしているか評価する。 発表や話し合いに取り組む姿勢を評価の参考にする。		美術に関わる創作活動の喜びを味わい、美術や文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞を通じた創作活動に取り組むことができているか。 自身の表現したいことが相手に伝わるように話せるか、また他の人の意図が理解できるか。